
「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 77

2011.4.16 (土)



Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今月の日本の海 茨城県鹿島神宮寺海岸」

日本の砂浜が全国で消失し続けている。日本有数の砂浜が 100km も続く鹿島海岸も例外ではない。かつて遠くまで砂浜が続いていた海岸も、写真に見るように砂浜は消失してしまった。砂浜の消失速度は平均でも年間 2~3m あり、ここ神宮寺海岸ではわずか 7 年で 50m



近くの砂浜が無くなった。砂の流失を食い止めるために、コンクリートブロックによる突堤が日本中の砂浜に造られているが、ここ鹿島海岸では、さらに巨大な人工ヘッドランドの建設が行われた。砂浜消失の根本的原因は、ダムや港湾の防波堤による砂

の供給阻害である。しかし、根本的な原因にたいする対策はとられず、対症療法的な対策ばかりが巨額な費用を必要とする事業として行われている。この海岸も今年の 3.11 の大津波でどのような変化を遂げたか、まだ情報はない。
(向井 宏撮影)

目次 「今月の日本の海」 茨城県鹿島神宮寺海岸

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
3. きらめく動物たちの命と海 久保田信の白浜だより（その4）
4. 事務局便り
5. 編集後記

●東北・太平洋沖地震

南三陸町自然活用センターの復旧に救援の手を

3月11日の震災に遭われたみなさまが一日も早く昔の生活を取り戻すことができますよう、お祈りします。また、災害で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表します。

「海の生き物を守る会」も利用させていただくなど、この地方で積極的に海の生き物を守り、親しむ活動を続けてこられた南三陸町自然環境活用センターが津波の被害でほぼ全壊しました。幸いにもセンター長はじめ職員のみなさまの全員の無事は確認されました。職員の方には心よりお見舞い申し上げます。

「海の生き物を守る会」では、南三陸町自然環境活用センターの復旧と職員の方々の生活を支えるために、支援金を募集しております。賛同していただけるようでしたら、海の生き物を守る会の口座（「うみひるも」の最後のページ参照）にお志を送金してください。いくらでも結構です。寄付される場合は hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp にメールにて金額と日付をお知らせください。すでに多くの善意が届いておりますが、更なるご協力をお願いする次第です。5月6日まで受け付けております。よろしくご協力のほどお願いいたします。

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

【国際】

●アイスランドの商業捕鯨を非難

IWC（国際捕鯨委員会）の決議を留保し続けて商業捕鯨を続けるアイスランドにたいして、オーストラリア、ブラジル、アメリカなど10カ国が、絶滅の危機に瀕しているナガスクジラとミンククジラの残酷な殺害を非難する声明を出した。声明は、アイスランドが2009年に125頭、2010年に148頭のナガスクジラを捕殺したことに深い憂慮の念を表明、ただちに商業捕鯨を中止するよう求めている。

【全国】

●ようやく「ラニーニャ」が終息

南米ペルー沖の海面水温が異常に低下し、世界的な異常気象を引き起こしていた「ラニーニャ現象」が、今年の春にようやく終息する見通しであることを日本の気象庁が発表した。現在のラニーニャ現象は、昨年夏に発生し、その後の北半球の異常は高温・猛暑の原因を作ったと言われている。

【北海道】

●「はまなすの丘」の植生 写真展

北海道石狩市の石狩川河口に広がる石狩浜のハマナスやエゾスカシユリ、ハマニガナなどの植物の写真展が、石狩浜にある「はまなすの丘」の石狩市民図書館で開かれた。題して「石狩浜～海辺の花ごよみ2010」。昨年撮影した225点の植物の写真を季節の移り変わりに応じて展示したもの。主催は「石狩浜定期観察の会」など。同会では、これからも毎年2週間に1回の頻度で植物の開花状況を調べる予定。

【東北】

●コウナゴから基準値上回るセシウム 茨城県に続いて福島県でも

福島県いわき市沖で漁獲したコウナゴ（イカナゴの幼魚）から、1kgあたり570ベクレルの放射性セシウムが検出された。食品衛生法の暫定基準値500ベクレルを上回っている。それに先立ち、茨城県北茨城沖でもコウナゴから高いヨウ素131を検出しており、茨城県では漁業を自粛、出荷停止となっている。福島県では、4月9日に初めて魚介類について放射性物質の調査を行ったもの。現在、福島沖では出漁しておらず、市場にも出荷していないため、県としては出荷規制をする予定はない。これらは、明らかに福島第一原発の1～4号機の事故と汚染水の放出による影響と見られる。今後海流による拡散と生物濃縮が心配されている。ヨウ素131は半減期が8日と短い、半減期を過ぎたとしてもゼロになるわけではなく、それ以後は現象速度は著しく低下し、いつまでも微量の放射物質が放射線を出し続ける。セシウム137は、半減期が30年と長く、動物の筋肉に積極的に取り込まれる。ただ、セシウムは生物体内に蓄積するだけでなく、排出もされとも言われているが、体内に取り込んだ場合は、内部被曝により5～10年後にガンの発生率が急上昇する。

●三陸のワカメ復活へ 鳴門からワカメが帰郷

日本一のワカメの産地である東北三陸地方が東北大地震による津波によって、養殖棚ごとワカメの株もすべて失ってしまった。鳴門ワカメの産地徳島県鳴門市に三陸のワカメの株が残っていたため、鳴門ワカメの生産者が、種となる芽株を提供し、三陸のワカメ復活のために支援することになった。鳴門から三陸へワカメの里帰りが実現する。三陸ワカメの養殖が復活する可能性が出てきた。ワカメ生産者によると、ワカメは産地によってそれぞれ

れ少しずつ特性があり、三陸産のワカメは肉厚で色が濃いのが特徴とか。産地によってそれぞれの土地の芽株を使わないと成長も良くないという。別の土地のものを移設しても効果的な生産は挙げられないという。遺伝子汚染のことも考えれば、本来の土地のものをその土地で生産するのが、科学的にももっとも推奨される養殖方法である。1933年の昭和三陸津波で被災した岩手県田野畑村に、鳴門から特産の「灰干しワカメ」の製造技術を教えて、ワカメ養殖の再興に力を貸した歴史もある。再び、歴史は繰り返される。

【関東】

●茨城県沖魚類から 放射性物質検出 基準値下回る

茨城県は、北茨城沖のコウナゴから高い濃度の放射性物質が検出されたことから、出荷停止をしているが、その後も引き続いて、水産生物の検査を行っている。これまでに4月7日に採取されたババガレイ、マコガレイ、アンコウ、ヒラメなどの検査を行い、1kgあたり数ベクレルから数十ベクレルの放射性物質を検出したが、どれも暫定基準値を下回った。さらに、11日に採取された那珂湊沖のコウナゴと大洗沖のノレソレ（アナゴの稚魚）からも放射性ヨウ素とセシウムが検出されたが、暫定基準値を大幅に下回ったと発表した。しかし、茨城県沖では漁業が行われておらず、基準値を下回っても値が付かないおそれがあり、当分は漁業の再開にはつながらない。

【近畿】

●サンゴの保全に オニヒトデや巻貝駆除

和歌山県串本町の沿岸ではサンゴが生育しているが、近年オニヒトデなどのサンゴの捕食者の出現でサンゴが死滅するおそれがあり、串本町内のダイビング業者が「サンゴを食害する動物駆除実行委員会」を作って駆除事業を行っている。この事業には環境省と串本町の補助が出されており、毎年ダイバーたちが海に潜ってオニヒトデや捕食性巻貝などの駆除が行われている。1999年から巻貝の駆除を始め、当初は年間10万個体以上を駆除していたが、年々個体数が減り、昨年度は5442個体を駆除した。駆除に参加したダイバーは延べ2000人を超える。巻貝を駆除した地点では、食害が減り、サンゴの新しい個体が現れたりしているという。オニヒトデの駆除は2004年から始まった。オニヒトデも当初は年間2万個体ほどが駆除されたが、最近は減少し、2010年には3274個体だった。これまでに約7万個体が駆除された。しかし、オニヒトデやシロレイシガイモドキなどのサンゴを食べる動物も、サンゴ群集の一員であり、捕食者を排除し尽くすことがサンゴ礁を守ることは思えない。珊瑚を守る市民団体には、バランスを持った生態系を維持するためにはどうすればいいか、人間や金儲け中心の考えではない科学的な考え方を指向してもらいたい。

【中四国】

●「潮止め松」に手当 腐朽防止

鳥取県米子市の中海沿いにある防潮林の松「潮止め松」の腐朽防止処置が行われた。この防潮林は、米子城を築城するときに植えられたもので、米子市指定の天然記念物として指定されているが、今年の冬の豪雪で幹が折れてしまった。そのために、雨や虫の害でこれ以上痛まないように上部に銅板を取り付けた。

●親子連れ 磯の観察で自然体験

徳島県牟岐町灘の徳島県立牟岐少年自然の家で、春の自然を体験するイベントが行われた。「春ランラン」と称するイベントでは、家族連れなど約 60 人が参加し、自然の家の近くにある松ヶ磯の潮だまりでヤドカリやアメフラシ、モクズガニなどの観察を行った。

【九州】

●指宿港海岸 砂浜の浸食進む 砂蒸し温泉も危機

鹿児島県指宿市の指宿港海岸では、過去 60 年間で 30m 以上の砂浜が後退し、道路まで波が直接到達する事態が進んでいる。国土交通省九州地方整備局では、今年度から砂浜侵食の原因やメカニズムを研究するプロジェクトを開始、今年度は 5000 万円の予算を決めた。指宿港の海岸侵食は 1951 年の「ルース台風」による被害のあと、防災のために防波堤を建設した頃から始まったという。これまで鹿児島県では堤防の建設や改良工事などを行ってきたが、浸食への効果はむしろ逆効果、今では砂浜がほとんど無くなってしまった。この海岸沿いの砂浜は砂蒸し温泉で全国的に有名なところ。温泉旅館やホテルも建ち並んでいるが、いまでは砂蒸し風呂は限られた場所ではなくなりつつある。浸食原因の最大のもののは砂の供給が減少したこと。それは、ダムや港湾防波堤の建設などがかかわっており、根本的な対策をとるためには、行政の縦割りを超えた総合的な対策が必要であるが、日本ではまだそのような体制ができていないため、ここでも対症療法の土木工事でお茶を濁すことになりそうである。それにしても多額の税金を費やして、当座の間に合わせ対策しかできない体制はなんとかならないものだろうか。

2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【東北】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋「大根コン」の歌 in 衣川&胆沢

日時：2011 年 4 月 17 日（日曜日）

会場：1 部と 2 部...衣川区南股地区センター（奥州市衣川区沼野 38）／3 部...胆沢区小山公民館（奥州市胆沢区小山字道場 40-1）

【プログラム】1部（衣川）10：00 上映／2部（衣川）13:00 上映／3部（胆沢）18：30 上映／吉野崇さんが岩手NHK「みんなのうた」で放送の「大根コン」の歌披露

【参加費】前売り大人 1000 円／当日大人 1300 円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」in 衣川&胆沢上映実行委員会

【問合せ先】ヨシノ／080-1805-7152

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 会津若松

日時：2011年5月3日（火曜日）

場所：福島県会津若松市西栄町 8-36 ([地図](#)) 若松栄町教会／会津若松市西栄町 8-36

【プログラム】調整中

【参加費】おとな 1000 円

【主催】ピースウォークプロジェクト 【問合せ先】サカイ／080-5557-5407

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in いわき市

日時：2011年5月4日（水曜日）12:10 開場／第1回上映 12:35／監督トーク 15:00／第2回上映 16:00

場所：福島県いわき市平字 5-15-1 ([地図](#)) burrows（バロウズ）／いわき市平字 5-15-1

【参加費】大人 1000 円／学生...主催者にお問い合わせ下さい

【主催】三函座リバースプロジェクト実行委員会

【問合せ先】burrows（バロウズ）／0246-24-7772

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in いわき市

日時：2011年5月5日（木曜日）12:50 開場／第1回上映 13:15／第2回上映 16:00

場所：福島県いわき市平字 5-15-1 ([地図](#)) burrows（バロウズ）／いわき市平字 5-15-1

【参加費】大人 1000 円／学生...主催者にお問い合わせ下さい

【主催】三函座リバースプロジェクト実行委員会

【問合せ先】burrows（バロウズ）／0246-24-7772

【関東】

●講演会「ウナギ:大回遊の謎(仮)」

1. 日 時：平成 23 年 4 月 25 日（月）17：30～19：00（受付開始 17：00）
2. 場 所：東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 10階ホール
3. テーマ：「ウナギ：大回遊の謎（仮）」
4. 講 師：塚本 勝巳氏（東京大学大気海洋研究所 海洋生命科学部門 教授）
5. 主催：OPRF 海洋政策研究財団

謎に包まれていたウナギの産卵場所について、東京大学大気海洋研究所と水産総合研究センターの研究グループは、平成21年5月にマリアナ諸島沖の海域で31個の生まれただばかりの天然ウナギの卵を採集することに世界で初めて成功し、今年2月1日付英科学誌ネイチャー・コミュニケーションズ（電子版）に研究成果が掲載されました。この研究を主導している塚本勝巳教授（東京大学大気海洋研究所）には、ウナギの回遊生態についてお話しを頂くことといたしました。

●企画展「宝石サンゴ展」講演会その2「宝石サンゴ研究の最前線」

日時 2011年4月29日（金） 13:30-15:00

会場 国立科学博物館 日本館2階 講堂

司会進行 藤田敏彦（国立科学博物館 動物研究部 研究主幹）

1. 宝石サンゴ研究の最前線一展示での研究紹介 藤田敏彦（国立科学博物館）
2. ミトコンドリアゲノムを使って宝石サンゴを分類する 鈴木知彦（高知大学）
3. 宝石サンゴの骨格を分析して海洋環境を調べる 鈴木 淳（産業技術総合研究所）

●科学技術映像祭「海花虫（うみはなむし）サンゴの森に咲くポリプの花」

サンゴの生態や発生を映像で記録したDVDビデオが第52回科学技術映像祭の自然・くらし部門において優秀賞を受賞しました。これに伴い、上映会が行われます。

日時：4月21日（木）11：30～

場所：東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館サイエンスホール

料金：入場無料

上映会は全国15カ所の科学館などで行われる予定です。詳細につきましては、科学技術映像祭のPDFをご参照ください。<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/52/pdf/52jyouei.pdf>

「海花虫」はドキュメンタリーチャンネルとお茶の水女子大学の研究者が共同製作した記録映像です。知っているようで知らないサンゴの生態や発生について、初心者にも、わかりやすく紹介しています。特に、サンゴの産卵後の発生や骨格形成などを、ここまで詳細に描いた実写映像は、世界でも初めてです。詳しい内容や画像については、こちらのギャラリーで公開しております。<http://www.documentary-ch.com/gallery/sango.html> この作品を通じて、科学的な視点で、サンゴや海洋環境を考えることができる一般の方や子どもたちが増えることを願っております。株式会社ドキュメンタリーチャンネル 藤原英史

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 江戸川区 ～震災被災者支援チャリティ上映会メイシネマ祭 '11

日時：2011年5月3日（火曜日）開場 17:00／上映 17:30

場所：東京都江戸川区東小岩 6-15-2（[地図](#)）小岩コミュニティホール／江戸川区東小岩

6-15-2

【参加費】 1回...大人・大・高生 1000円（内義援金 200円）／小・中学生 500円（内義援金 100円）

【主催】 メイシネマ上映会 【問合せ先】 藤崎／03-3659-0179

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 蕨

日時：2011年5月7日（土曜日）（夜の部前半に監督トーク予定）

会場：昼の部...蕨市立中央公民館 1F 集会室（蕨市中央 4-21-29）／夜の部...蕨市立文化ホール くるる（蕨市中央 1-23-8）

【参加費】 1000円 【主催】 蕨市社会教育関係団体カルチャーショックわらび

【問合せ先】 仲内／048-444-3176／ okera@kna.biglobe.ne.jp

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 八千代市

日時：2011年4月20日（水曜日）開場 9:45／上映 10:15

場所：千葉県八千代市ゆりのき台 3-7-3 ([地図](#)) 八千代市総合生涯学習プラザ／八千代市ゆりのき台 3-7-3

【参加費】 400円

【主催】 生活クラブ千葉京葉ブロック八千代支部

【問合せ先】 北山早苗／080-5145-3204／ sanaekitayama@jcom.nethome.ne.jp

● 瀬瀬あや監督作品 映画「祝の島」上映予定

日時	場所	会場	問合せ先
4月17日(日) 13:30～	新潟県 中魚沼郡	津南町文化センター	025-755-7205 (萩原)
4月23日(土) 13:00～ 18:00～	栃木県 小山市	小山市立文化センター 小ホール	080-3400-0343(佐通)
5月21日(土)	東京都	明星学園高校 会議室	090-3064-5563

14:00～	三鷹市		(明星学園中学校内 川手)
6月4日(土)	神奈川県	杜のホールはしもと	042-760-3066
19:00～	相模原市	多目的室	(市川)

【東海】

●第44回 味わって知る わたしたちの海

日時：5月12日

(木) 10:30～

13:30

場所：昭和生涯学習センター（名古屋市）

参加費：1500円

（材料費、講習費、保険料）

募集定員：24名

持ち物：エプロン

主催：なごや環境

大学共育講座

第44回 味わって知る わたしたちの海

日時: 5月12日(木) 10:30～13:30 定員24名
 会場: 昭和生涯学習センター(地下鉄桜通線御器所駅より徒歩5分)
 参加費: 1500円(材料費・講習費・保険料) 持ち物: エプロン



愛知県の海でとれたコウナゴとアシタバの天井、その他コウナゴの釘煮。タイラギなど貝のお刺身を作って食べます。




講師

愛知県漁業生産研究所
研究員

梶崎 直文さん

今回のテーマはマリンエコラベルの認証を受けた愛知県のコウナゴ漁です。東北地方の原発事故による風評被害から地元漁業を守るためにわたしたちが今できることをいっしょに考えませんか？

申し込み: 090-3852-9468(大矢)



なごや環境大学共育講座

山崎川グリーンマップ 伊勢・三河湾流域ネットワーク

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 中野市 ～原子力発電にたよらない未来を考える

日時：2011年5月7日（土曜日）開場 18:30 / 上映 19:00

場所：長野県中野市赤岩 1447 ([地図](#))中野市北部公民館 / 中野市赤岩 1447

【参加費】主催者にお問い合わせください

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」を上映する会

【問合せ先】柴垣 / 090-9669-4433 / email@sibagaki.com

【近畿】

●和歌の浦干潟観察会（第17回）

日時：2011年5月1日（日）、12時～14時

観察予定地：観海閣（妹背山）周辺の干潟

ハクセンシオマネキやチゴガニの求愛行動、コメツキガニの砂団子、水際に群がるヤドカリ類、テッポウエビ、絶滅寸前種のイボウミニナなど、たくさんの生き物を観察できます。今年も例年の観察会に加え、市民参加型の生物調査（助成：日本財団）も行います。生き物好きのあなた、是非ご参加を。

集合時間と場所：12時に観海閣（玉津島神社の向かい）雨天中止（小雨決行）

費用：レク保険一人20円（事前申し込み）、資料一部100円、希望者のみ服装や準備物、その他注意点：長靴または泥にはまっても良い靴（サンダル・水雪駄は泥に足を取られるので不適）。帽子、タオル等、採集道具や飲食物、着替えは各自の判断で。レクレーション保険への加入を希望される方は、準備の都合上28日（木）までに、氏名・年齢・性別を溝口までご連絡ください。

主催：和歌山大学教育学部生物学教室 わかのうらひがた倶楽部

保険加入希望者申込先：e-mail: kazukomz@center.wakayama-u.ac.jp または 073-457-7378, 生物学教室の溝口まで。

その他問い合わせ:e-mail: tkoga@center.wakayama-u.ac.jp または 090-4499-3157, 古賀まで

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 西宮

日時：2011年5月5日（木曜日）

場所：兵庫県西宮市若松町 6-18 ameen's oven / 西宮市若松町 6-18 ヴィラドコアン 1F

【参加費】調整中

【主催】ameen' oven 【問合せ先】三島 / 0798-70-8485 / yumyum@ameensoven.com

【中四国】

●第 448 回 NACS-J 自然観察指導員講習会・島根 受講者募集中

日本自然保護協会（NACS-J）自然観察指導員講習会は、地域の生物多様性保全と持続的な地域づくりに取り組むボランティアリーダーの養成講座です。自然の観察を通して、自然の仕組みや人と自然の関わりを学び、観察会などで多くの人に伝えることで地域そして日本の自然を守ります。事前の知識はなくても、気持ちがあれば問題ありません。

■第 448 回・島根県

開催日 5/6～8

会場 隠岐の島・あいらんどパークホテル（隠岐の島町津戸）

定員 40 人（先着順）

お申し込み締切 4/25 まで

参加費 15,500 円（NACS-J 会員は 5,000 円減額）

*宿泊希望者は期間中の 2 泊 2 朝食で 7,100 円必要です。

★お申し込みは以下の専用フォームからお願い致します。

<https://www.nacsj.or.jp/sanka/shidoin/order.php>

<<お問い合わせ先>> 公益財団法人 日本自然保護協会 教育普及部 講習会担当

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F TEL:03-3553-4105 E-mail :

2011@nacsj.or.jp

*ご希望の方には、講習会の資料や申込書を送付します *詳しい内容は、当協会ホームページでもご案内しています（http://www.nacsj.or.jp/sanka/shidoin/seminar_schedule.php）

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 岡山市

日時：2011 年 4 月 17 日（日）第 1 回 10:00／第 2 回 13:40／第 3 回 17:20

場所：岡山県岡山市北区駅元町 15-1 ([地図](#)) 岡山市デジタルミュージアム 4F／岡山市北区駅元町 15-1

【参加費】一般 1500 円／前売り 1300 円／団体（5 枚以上）1200 円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」岡山上映実行委員会

【問合せ先】赤井／090-5373-6791

【九州】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+再生可能エネルギーシンポジウム in 福岡市

日時：2011 年 5 月 14 日（土曜日）開場 12:30／上映 13:00

場所：福岡県福岡市早良区百道 2-3-15 ([地図](#)) ももちパレス小ホール／福岡市早良区百道 2-3-15

【参加費】1500 円（要予約）／中学生以下料金...主催者にお問い合わせください

【併催企画】上関原発を建てさせない祝島島民の会代表・山戸貞夫さん講演／自然エネルギーの利用について～株式会社エコテック代表取締役林敏秋／意見交換会

【主催】株式会社エコテック 【問合せ先】岡／092-738-5040／ fukuoka@ecotech.net

【沖縄】

●干潟を守る日 IN 泡瀬干潟

日時：2011年4月17日（日）午前10時～午後5時

場所：泡瀬干潟・ミナミコメツキガニの浜（下記地

図参照沖縄市ITワークスペース 前の浜辺）

日程

●10～14時までは、観察会（世界の貴重種クビレイトロ、新種ミナミコメツキガニの大群集等）

奈良教育大学附属中学校修学旅行（干潟学習）午前3グループ、午後2グループ

●14～15時は小集会（干潟を守る日、アピール採択、意見表明など）

●15時～17時までは波の音を聴きながらコンサート、海の幸を味わう。

コンサート：知念良吉（及び大震災の被災に遭った東北のミュージシャン）、KEN子

海の幸を味わう：モツクチャーチ、アーサ汁、オニギリ（泡瀬オゴノリ入り）、モツク酢の物

3. きらめく動物たちの命と海 【久保田信の白浜だより(その4)】

凍死漂着する南方系の魚たち

冬の北浜には、普段の潜水調査や漁獲物調査でめったに発見されない珍しい動物が打ち上がることがある。常春の白浜でも冬季の海水温はやはり冷たい。2004年2月上旬、13度近くまで急に下がった時があり、熱帯魚のツノダシが、波打ち際でけいれんを起こし、凍死寸前になっているのを目撃した。



2004年1月28日に、1個体のクロハコフグの幼魚が、北浜に打ち上がった。クロハコフグは、通常、沖縄海域に生息する南方系のフグの1種だ。2002年に、本種の凍死した5個体の幼魚の漂着により、36年ぶりに田辺湾での生息が確認されたばかりだった。クロハ

コフグは、特徴的な模様と色合いをしているので、幼魚の時から他のハコフグ類と容易に見分けられる。

▲魚の婚姻色となわばり行動

魚の色彩に関する興味深い例として、婚姻色となわばり行動の関係がある。一般に、海産魚類では外見だけでは雌雄は分からないものが多いのだが、淡水魚でよく知られた興味深い例がある。水草などで巣をつくるトゲウオ類は、生まれつき備わった行動から、特定の刺激に反応することが分かっている。魚の形をしていなくても肉薄の物体で、下半分をトゲウオの雄のトレードマークである赤色を塗るだけで、本物の雄はその物体に猛然と襲いかかって、懸命に追い出そうとする。自ら作成した愛の巣を守ろうとする縄張り行動だ。勿論、未熟な個体は、これほど鮮やかに変身しないので繁殖には参加しないし、攻撃もしない。

また、淡水魚のオイカワやカワムツなどで発現する婚姻色も知られる。両種とも繁殖期になると、雄の体表は赤色や青緑色などで染め分けられ、艶やかな色彩に変身する。発色と同時に鱗も長く伸びる。さらに、オイカワは、頭部に追星と呼ばれるいぼ状の突起が多数でき、黒ずむ。その変わりぶりを知らない方々からは、「この魚、なんという熱帯魚ですか」と聞かれるほどの大変身を遂げているのだ。だが、不思議なことに、小さな水槽に数匹の成熟雄と成熟雌1匹を入れてもけんかは起こらない。なにか目に見えないことが起こっているのかもしれないが・・・。

▲雌雄で体色が異なるクロハコフグの成魚

クロハコフグの雌雄は、成魚になると模様で判別できると、瀬戸臨海実験所の田名瀬英朋教員が教えて下さった。これまで北浜に打ち上がった小さな体の幼魚は、いずれも黒地に白ゴマ模様をしていた。だが、成魚になると、雄だけは鮮やかなオレンジ色の模様に変身するのだ。クロハコフグの成魚の雌雄の模様の差は、一時的な婚姻色ではないので、繁殖期を過ぎても変わらないはずである。この違いの意味は、あでやかな熱帯魚たちの群れる南西諸島などの海域では、同種のパートナーを間違いなく選択するのに役立っていると思われる。

いかに温暖な黒潮の影響があるとはいえ、紀南地方でクロハコフグの成魚を見ることはまずない。確認されても、すべてが小型の幼魚ばかりで、成長して大きくなった成熟の雄などは一度も確認されたことがない。黒潮に乗って幼魚などが流れ着くことはあるものの、最低でも15度以上の水温でなければ越冬できない。だが、地球温暖化が近年ずっと続いている。黒潮の紀伊半島への接岸などから、今後はこの色鮮やかな雄の発見が期待できるかもしれない。ダイバーらによる生態の撮影による証拠も届けられる日も来るだろう。
(つづく)

4. 事務局便り：

- この「うみひるも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひるも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

5. 編集後記

3月11日に東北・関東の太平洋岸を襲った大地震と大津波は、海の生き物を研究したり教えたりしている施設も襲った。岩手県には、東京大学の国際沿岸海洋センター（大槌町）と北里大学生命科学部（大船渡市）、宮城県には東北大学女川水産実験所（女川町）と自然環境活用センター（南三陸町）などがあり、どの施設も津波に襲われほぼ全壊状態だったが、不幸中の幸いで、スタッフはほぼ全員無事であった。それぞれの大学の施設では、徐々に復旧に向けての動きが始まっているが、南三陸町の自然環境活用センターは、南三陸町そのものの復興がどうなるか見通しがまだ立たない状況で、センターの復興は困難を極めることが憂慮される。自然環境活用センターは、海の生き物の面白さと重要性を一般の人に教え、普及させることを目的に、これまで多くの人に利用されてきた。しかし、このような施設は大災害の復旧の時には、概して後に回されることが多いし、場合によっては復旧さえもできないこともありうる。そこで「海の生き物を守る会」では、南三陸町自然環境活用センターの復旧を促し支援する目的で、支援金の募集を行っている。現在まですでに善意の25万円が集まっているが、今後もみなさまからのご支援をお願いしたいと思い、5月の連休明けまで締め切りを延ばすこととしました。みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。（宏）

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp（向井）まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第77号

2011年4月16日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205; 090-8563-1501 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会